

平成28年度 第5回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成28年9月13日(火) 10時30分～12時10分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，滝澤理事，門出理事，後藤理事，和田理事，佐々木監事，
田中教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，
原医学部長，石橋工学系研究科長，山下附属病院長，
皆本全学教育機構副機構長，米山附属図書館長，
郭シンクロトン光応用研究センター長

欠席者 渡邊農学部長(代理 大島副学部長)

陪席者 兒玉学長補佐，光富学長補佐，寺本学長補佐，只木学長補佐，
木村学長補佐，吉永学長補佐，荒木低平地沿岸海域研究センター長，
宮武地域学歴史文化研究センター長，
池上海洋エネルギー研究センター副センター長
(永田海洋エネルギー研究センター長の代理)

【 報告・連絡事項 】

- (1) 平成27事業年度及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングについて

後藤理事から，本件について，8月9日に文部科学省において実施された国立大学法人評価委員会のヒアリングにおける委員からの質問事項について説明があった。

- (2) 教員組織編制における教員の専門分野等の調査について

滝澤理事から，本件について，教教分離を行うに当たり，教員の専門分野等の調査を実施するために，全学的な組織再編WGで検討した具体的な調査方法(案)の説明があった。

その中で，研究分野の特定のため，科研費の「分野・分科・細目」は必須入力項目であるが，キーワードについては，A案：必要に応じてキーワードを入力する，B案：キーワードまでの入力を必須とする，のどちらの案を採用するか検討いただきたい旨の発言があった。

キーワードがないと仕分けが難しいのではないかと，キーワードについては類似したものや，名称は類似しているが違うものである場合が多々ある

等の発言があり、B案が採用された。なお、本調査を10月1日より開始する旨の説明があった。

(3) 平成29年度科学研究費助成事業—科研費—の公募等について

門出理事から、本件について、平成28年9月1日付けで文部科学省及び日本学術振興会より通知があったことから、学内の応募締切を10月19日として各研究者へ通知を行った旨の説明があった。なお、公募に係る説明会を本庄地区は9月14日、鍋島地区は9月15日に開催し、応募に係る主な変更点等の説明を行う旨の発言があった。また、過去10年間科研費の採択がなかった教員については査読を行う旨の発言があった。

(4) 平成27年度特別研究員等審査会専門委員の表彰について

門出理事から、本件について、特別研究員事業及び国際交流事業の選考の書面審査において、有意義な審査意見を付していただいた専門委員等を表彰することとされており、表彰対象者約700名の中から130名が選考され、本学から、工学系研究科の橘基准教授が表彰された旨の報告があった。

(5) オープンキャンパス2016の実施結果について

入試課長から、本件について、8月10日に開催したオープンキャンパスの参加者が昨年比1,200名増であり、その要因として各学部のプログラムが年々充実し、高校の認知度も高くなったことや参加者の事前予約制の導入等が考えられるとの報告があった。

一方、参加者がキャパシティの6,000名を超えたこと、また、平成29年度は教養教育2号館改修工事がオープンキャンパス開催時期と重なることから、生協食堂の受入れ態勢の改善、駐車場の確保等、今後、改善策の検討が必要である旨の説明があった。

(6) 科学研究費助成事業等以外の外部資金を利用した学内施設利用等の内部取引による負担方法について

財務課長から、本件について、総合分析実験センターの利用料、動物実験施設の実験動物の飼育経費等の学内施設利用料等の負担方法について、従前の対応から、今後は、さらに柔軟に科研費等以外の外部資金（受託研究費、受託事業費、共同研究費、共同事業費、寄附金、補助金等）でも対応できるよう取扱いを変更する旨の説明があった。

また、本会議終了後、各部局に資料一式を配布し意見照会を行う予定であり、その結果を次回の本会議にて報告のうえで、その後の運用とする旨の説明があった。

(7) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告
各学部等から報告があった。

(2) その他
特になし。

【 その他 】

特になし。

以 上